

競技上の注意

2024年 北海道卓球選手権大会 (カデットの部)
審判長 松田 正信

本大会は現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ボール・ラバー・ラケットについて

- (1) 使用球は公認プラスチック球「40mm ホワイト」とする。(ニッタク、ヴィクタス、ヤサカ、バタフライ)
- (2) ラバーは、現在 JTTA または ITTF が公認しているものでなければならない。
- (3) ラバーは、公認マークやメーカーの商標・ロゴ等が、ラケット本体のグリップに最も近く、はっきり見えるように貼らなければならない。打球面に貼るラバーは、グリップを除く全面に貼るものとするが、指の当たる部分を避けて貼ることが出来る。
- (4) ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
- (5) ラバーはラケット本体より大きかったり、小さかったりせず表面は平坦であること。縁取りテープはラバーの上にはみ出さないこと。
- (6) ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので、すぐにプレーを再開しなければならない。
- (7) JTTA が未公認の外国製ラケット本体を大会で使用する場合は、競技開始前に審判長の許可を得なければならない。
- (8) 試合中のインターバルの間（休憩時間を含む）は、ラケットをテーブルの上に置いておくこと。

2. 競技服装について

- (1) 競技服装は、JTTA 公認ワッペンが付いたものであること。競技用シャツ(襟・袖を除く)、ショーツ、スカートの主たる色は使用するボールの色と明らかに違う色でなければならない。(27.9.1 適用開始)
- (2) ダブルスのペアは、靴・靴下を除き同一のユニフォーム、同色の短パンを着用すること。
- (3) ゼッケンは、2024 年度（公財）日本卓球協会指定のものを着用すること。
- (4) 同色系の服装による対戦を避けるため、必ず色の異なった 2 種類以上のシャツを用意すること。

3. サービスについて

サービスは、手のひらを開き自由に転がる状態でボールを置き一旦静止する。サービスを開始してからボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスより高く、かつサーバーのエンドラインより後方にあること。またその間、サーバーまたはパートナーの体の一部または着用している物でボールをレシーバーから隠してはならない。さらにボールが手から離れたらすぐにフリーアームをボールとネットの支柱との間の空間の外に出さなければならない。

4. 促進ルールについて

ゲーム開始後 10 分経過しても終了していない場合は促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が 18 以上 (9-9、10-8) の場合は適用されない。

5. 競技の継続性について

ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスあるいはレシーブの体勢をとり、競技のスピードアップをはかること。

6. アドバイスについて

- (1) 競技者又は組はそのマッチ開始前に主審に登録された一人のアドバイザーからのみアドバイスを受けることができる。
- (2) 競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間のみアドバイスを受けることはできるが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることはできない。

7. タイムアウトについて

- (1) 準々決勝以降、公認審判員を配置しタイムアウト制を適用する。
- (2) 競技者、組または指名されたアドバイザーは 1 マッチにおいて 1 分以内の「タイムアウト」を 1 回要求することができる。
- (3) 「タイムアウト」の要求は、ゲーム中のラリーとラリーの間のみでき、その際で「T」を示す。